

藤沢記者クラブ各位

インフルエンザ流行警報を発令します

本市では、感染症発生動向調査による2025年第46週（11／10～11／16）におけるインフルエンザの発生状況が、定点※あたり38.47人（定点数15か所、患者報告数577人）となり、流行警報の基準値（定点あたり30人）を超えたため、インフルエンザ流行警報を発令します。

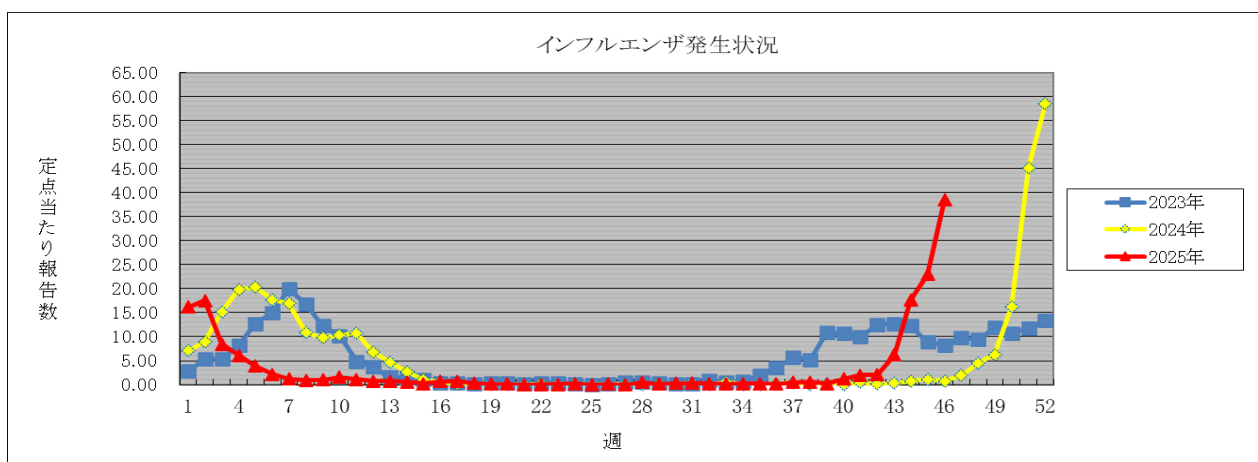
引き続き、手洗い、咳エチケットを徹底するとともに、インフルエンザワクチンの接種の検討をお願いいたします。

※「定点」：定期的に患者発生状況を報告いただいている市内医療機関（インフルエンザの場合は、15か所）。定点あたりの数とは、1週間分の患者数の平均値。

▼インフルエンザの定点あたり報告数の推移

週	集 計 期 間	全国	神奈川県	藤 沢 市
42週	10月13日～10月19日	3.26	5.62	2.13
43週	10月20日～10月26日	6.29	11.88	6.20
44週	10月27日～11月 2日	14.90	28.47	17.60（流行注意報）
45週	11月 3日～11月 9日	21.82	36.57	22.93
46週	11月10日～11月16日	-	-	38.47 （流行警報発令）

▼藤沢市内のインフルエンザ発生状況グラフ



《次項あり》

インフルエンザの感染予防対策

インフルエンザは、主に感染している人の咳やくしゃみ、つばなどの飛沫を吸い込むことで感染します。また、ウイルスが付着した手で、目や鼻をこすることでも感染するおそれがあります。

- ◆手洗いは石けんをよく泡立てて流水でしっかり洗いましょう。集団生活をしている施設では、共用タオルの使用はやめましょう。
- ◆咳などの症状があるときはマスクを着用するなど、咳エチケットを徹底しましょう。
- ◆咳やくしゃみを手で受け止めたときは、すぐに手を石けんで洗いましょう。
- ◆有効な予防方法の一つとして、早めのワクチン接種をご検討ください。なお、インフルエンザワクチンの効果は、一般的に接種後約2週間程度で現れます。

【注意！】 インフルエンザと診断された場合、抗インフルエンザ薬を使用して解熱しても、すぐにウイルスの排出がなくなるわけではありません。登校・登園や仕事に復帰する時期は、医師の指示に従ってください。

【参考：学校保健安全法による出席停止期間】

「発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで」

▼藤沢市内のインフルエンザ流行状況

2022年 (令和4年)	51週	12/19~12/25	2.75	流行開始
	5週(翌年)	1/30~2/5	12.75	流行注意報
	警報発令なし			
2023年 (令和5年)	36週	9/4~9/10	3.56	流行開始
	39週	9/25~10/1	10.88	流行注意報
	警報発令なし			
2024年 (令和6年)	45週	11/4~11/10	1.13	流行開始
	50週	12/9~12/15	16.20	流行注意報
	51週	12/16~12/22	45.20	流行警報
2025年 (令和7年)	40週	9/29~10/5	1.20	流行開始
	44週	10/27~11/2	17.60	流行注意報
	46週	11/10~11/16	38.47	流行警報

※基準値が10を超えると「注意報」、
30を超えると「警報」発令の後、
10を下回ると「警報解除」



*この資料に関する問い合わせ先
 藤沢市役所 健康医療部 保健予防課
 担当： 幸田・片山・林
 内線： 7171
 直通： 0466(50)3593